

令和5年度特別支援教育理解促進フォーラム

特別な支援を必要とする子どもたちに対する切れ目ない支援体制の構築に向けて、家庭や関係機関等との連携を深めていくことが求められています。

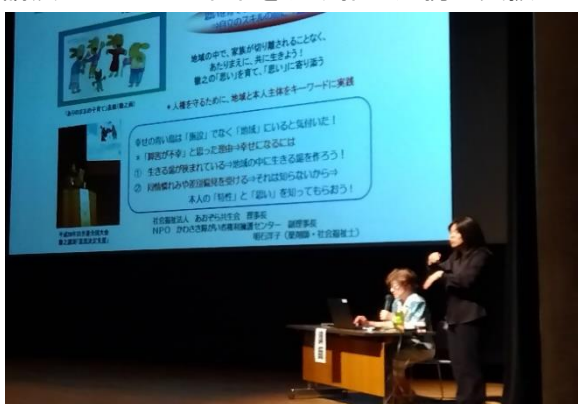
県教育委員会では、特別支援教育に関する理解啓発や関係機関との連携を推進し、障がいのある子どもたちの教育の一層の充実を図るため、特別支援教育理解促進フォーラムを毎年開催しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、この数年は中止やWeb会議方式での開催となっておりましたが、今回、実に4年ぶりに対面での開催ができ、約150名の方に御参加いただきました。

○期日 令和5年8月7日（月）

○会場 松前総合文化センター 広域学習ホール

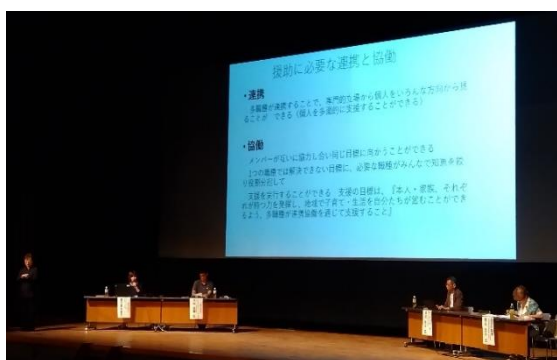
○内容

・講演「子どもの未来を切り拓く連携と支援について ～地域で豊かに暮らすために～」



【講師】明石 洋子 氏（社会福祉法人あおぞら共生会理事長、川崎市自閉症協会相談役（前会長））

・シンポジウム「どの子ども暮らしたいまちで自分らしく生きるための地域支援について」



【シンポジウムの様子】



【コーディネーター】
愛媛大学教育学部教授 吉松 靖文 氏



【シンポジスト】
児童発達支援センターあゆみ学園
児童発達支援管理責任者
今村 高博 氏



【シンポジスト】
愛媛県社会福祉士会理事
愛媛医療センター医療ソーシャルワーカー
藤田 美佐恵 氏